

政府・アジア戦略を踏まえた 研究フェーズからの取り組みについて

企画部 国際研究推進室

(キーワード) 成長戦略、アジア戦略、研究フェーズからのアプローチ

1. はじめに

国総研では、政府の成長戦略「アジア戦略」に沿って、国際活動を企画立案・推進するとともに、研究フェーズから我が国の関連技術等の普及につなげる仕組みづくりなどについての調査研究を進めている。本稿では、その取り組みの一部を紹介する。

2. 研究フェーズからのアプローチ

「アジア戦略」では「土木建築分野で有する高度な技術のアジアへの普及を進める」とこととされているが、これに寄与するには、相手国と研究フェーズから研究成果の普及を見据えた戦略的アプローチ(図1)が必要だと考えている。

これを踏まえ、当面の研究連携重点国であるインド、インドネシア、ベトナムの3カ国を対象に、共同WS等を開催し研究連携を推進(図2)する一方で、アンケート等による具体技術のニーズ把握や関連技術の相手国への普及・展開方策の検討を進めている。

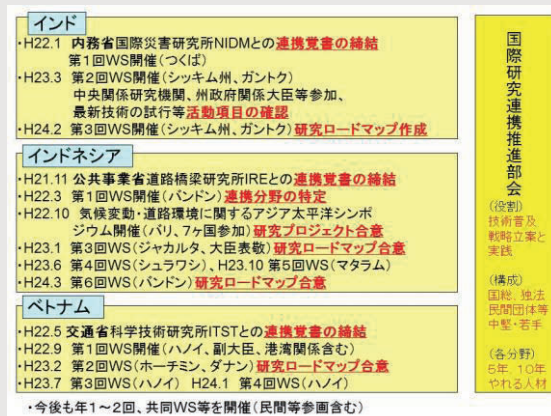


図2 アジア戦略を踏まえた2国間研究連携

今年度は、公共計画へのスペックの書き込みも想定し、インドネシアの道路整備計画の策定手続きなどを調査するとともに、アジア進出経験を有する国内建設関連企業11社に、現状・課題等のヒアリングを実施した。この中で整理された、我が国企業の技術力の評価につながる長期的な品質検証の仕組みの導入などの課題を踏まえ、今後の研究連携活動の企画立案やその内容の充実を検討していくこととしている。

3. おわりに

今後も政府の成長戦略に寄与すべく、国際活動や調査研究を進めていくこととしている。

なお、今年度研究連携重点国との間で開催した共同WS等の概要については、巻末P131(主な国際会議)を参照されたい。

【参考】国総研HP(国際活動について)

(<http://www.nilim.go.jp/lab/beg/foreign/kokusai/kokusaitekikatudou.htm>)

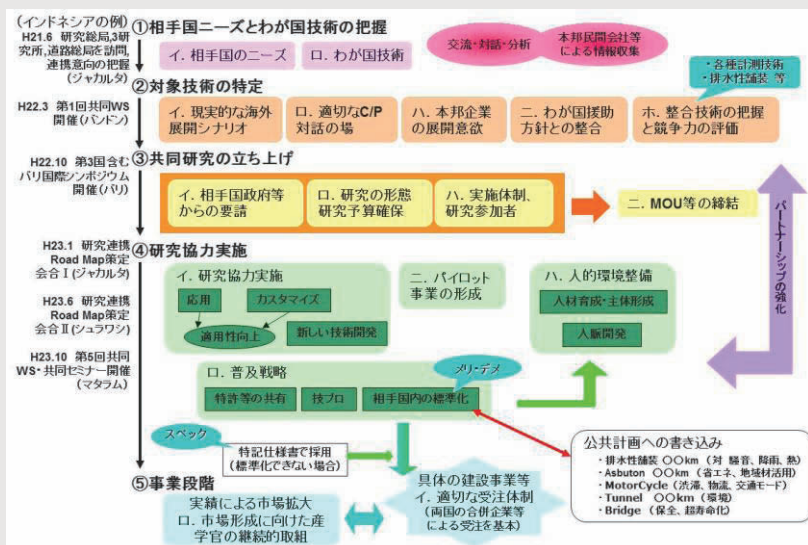


図1 研究フェーズからの戦略的アプローチ